

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、
自宅の災害リスク・とるべき行動を
確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

ハザードマップ*で自分の家がどこにあるか
確認し、印をつけてみましょう。

必ず取り組みましょう

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生する恐れの高い区域を着色した地図です。ただし、着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

ハザードマップは市のホームページに掲載しているほか、以下の施設で配布しています。
危機管理室、内間木支所、各出張所、内間木公民館、西朝霞公民館、溝沼市民センター、朝霞警察署



家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市が発令する避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として*、
自宅の外に避難が必要です。

例外

- ①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまう恐れの高い区域の外側である
 - ②浸水する深さよりも高いところにいる
 - ③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある
- ①～③の場合は、浸水の危険があっても自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間
がかかりますか？

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や
知人はいますか？

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚
や知人はいますか？

はい

警戒レベル **3** が出たら、**安全な親戚や知人宅への避難***も検討しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル **3** が出たら、**市が開設した避難所に避難**しましょう

はい

警戒レベル **4** が出たら、**安全な親戚や知人宅への避難***も検討しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル **4** が出たら、**市が開設した避難所に避難**しましょう

※新型コロナウイルス感染症対策として、避難所が過密状態になることを防ぐ観点からも、安全な親戚や知人宅への避難も検討しましょう。



指定避難場所はここから確認できます。→